

# 第1日目 12月6日（金）

学術大会会場（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構）

12:50～13:00 開会式

13:00～14:30 シンポジウム1（生物）基礎生物研究から新たな治療法へ向けて

座長：下川 卓志（量子科学技術開発機構）

**量子ビーム誘発変異の特徴解明と実用品種開発**

長谷 純宏（量子科学技術研究開発機構高崎量子技術基盤研究所）

**古くて新しいホウ素中性子捕捉療法～作用メカニズムから治療まで～**

松本 孔貴（筑波大学医学医療系・臨床医学域・放射線腫瘍学）

**重粒子線の心臓治療応用までの道のりを振り返って**

網野 真理（東海大学医学部救命救急医学/循環器内科学）

14:40～16:10 シンポジウム2（物理）物理が切り開く新たな治療法への可能性

座長：東 俊行（理化学研究所）

**超偏極MRI（物理、量子の観点）**

根来 誠（大阪大学量子情報・量子生命研究センター）

**セラノスティクスに向けた薬物動態可視化の試み**

片岡 淳（早稲田大学先進理工学部）

**ホウ素中性子捕捉療法（加速器、物理中心に）**

田中 浩基（京都大学複合原子力科学研究所）

16:10～17:00 ポスターセッション

17:00～19:00 情報交換会

# 第2日目 12月7日（土）

学術大会会場（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構）

## 09:00～10:50 シンポジウム3（医療）粒子線治療の現状と今後への展望

座長：若月 優（量子科学技術研究開発機構）

### 膀胱癌に対する粒子線治療

西岡 健太郎（北海道大学放射線科）

### 子宮頸癌に対する重粒子線治療

安藤 謙（群馬大学放射線科）

### 小児に対する陽子線治療

水本 齊志（筑波大学放射線科）

### マルチイオン照射の研究開発

稲庭 拓（量子科学技術研究開発機構）

### 量子メス治療装置開発の現状と将来

片桐 健（量子科学技術研究開発機構）

## 11:00～12:00 一般講演

演者（演題募集中）

## 13:00～15:00 一般講演

演者（演題募集中）

## 15:00～16:30 特別セッション（融合）未来の量子医科学の為の異分野融合

座長：今岡 達彦（量子科学技術研究開発機構）

### 超偏極MRI

高草木 洋一（量子科学技術研究開発機構）

### 量子センサ

五十嵐 龍治（量子科学技術研究開発機構）

### アスタチン（内用療法）

渡部 直史（大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座）

## 16:30～16:40 閉会式